

平成23年度 シラバス	学年・期間・区分	5年次・通年・A群	
	対象学科・専攻	機械・電気電子・電子制御・情報・土木工学科	
ドイツ語Ⅱ (Deutsch II)	担当教員	保坂直之 (Hosaka, Naoyuki)	
	教員室	図書館2階 (tel 42-9064)	
	E-Mail	hosaka@kagoshima-ct.ac.jp	
教育形態 / 単位の種別 / 単位数	義/学修単位[講義Ⅰ]・2単位		
週あたりの学習時間と回数	[授業(100分) + 自学自習(80分)] × 30回		
<p>[本科目の目標] ビデオドラマを見てその台詞から日常会話でよく使う表現を取り上げ、口頭練習・聞き取り・書き取りなどの作業を通して、簡単なコミュニケーションが可能な実践的な語学力を養う。また、ドイツ・ヨーロッパの文化やものの見方に触れさせ、さまざまな異文化を受け入れることのできる多角的な視野を身につけさせる。主たる教材は日・独の戦後高度経済成長期に作られたものであり、生きた歴史資料によって戦後の現代史を自然に学ぶことも目指す。(初級ドイツ語後半)</p>			
<p>[本科目の位置付け] 4年次に学習した初級ドイツ語の入門的知識は必要。聞き取りや発話の演習を中心にして、体系文法の機械的学習ではないコミュニケーション中心の学習となる。</p>			
<p>[学習上の留意点] 授業はドイツ語のみで行う時間を増やす(約40~50%)。日本語を使わずに外国語を使うという感覚を味わってほしい。文法の説明や、授業で随時導入される音楽、映画、新聞、雑誌、テレビニュース等についての意見交換などでは日本語を使用する。授業内容をよく理解するためには、テキストの音読や読解のテキストなどの課題学習を含む復習、小テストへの準備などが必要である。</p>			
[授業の内容]			
授 業 項 目	時限数	授業項目に対する達成目標	予習の内容
1. A. Guten Tag, F-5 : 1. B. 文法 : zu 不定詞 1. C. 講読練習 (中間試験)	14	*時刻の表現、期間の疑問文について理解し、使うことができる。 *日欧の大学制度の違いを理解した上で、大学生活でよく使う表現が言える、理解できる。 *口頭練習した内容での講読練習ができる。 (授業項目1について達成度を確認する)	・時刻の表現について配布されるプリントの内容を予習すること ・対訳シナリオ24~28頁の内容を予習すること
2. A. Guten Tag, F-6 2. B. 文法 : 話法の助動詞(1)、前置詞、分離動詞、所有冠詞 2. C. 講読練習 (前期末試験) (答案返却・解説)	14 2	*願望の表現、方向を現す前置詞・副詞、分離動詞、所有冠詞について理解し、使うことができる。 *口頭練習した内容での講読練習ができる。 (授業項目2について達成度を確認する) (各試験において間違った部分を理解できる)	・話法の助動詞、方向を表す前置詞・副詞、分離動詞、所有冠詞について配布されるプリントの内容または指定された文法問題集の頁を予習すること ・対訳シナリオ29~35の内容を予習すること
3. A. Guten Tag, F-7 3. B. 文法 : 話法の助動詞(2) 3. C. 講読練習 (後期中間試験)	14	*道順の尋ねたり、教えたりすることができる。 *非人称主語 es、話法の助動詞を理解し、使うことができる。 *口頭練習した内容での講読練習ができる (授業項目3について達成度を確認する)	・道案内について配布されるプリントの内容または指定された文法問題集の頁を予習すること ・対訳シナリオ36~41頁の内容を予習すること
4. A. ランデスクンデ : ベルリンの壁と戦後の欧州 4. B. ランデスクンデ : ベルリンの現在 4. C. 講読練習 (学年末試験) (試験答案の返却・解説)	14 2	*冷戦時代の欧州の状況を理解できる。 *壁崩壊後のベルリンの状況を理解できる。 *時事問題を扱った簡単なドイツ文を読むことができる。 (授業項目4について達成度を確認する) (各試験において間違った部分を理解できる)	・配布されたランデスクンデ資料の内容を読んでおくこと

